

## 創立 25 周年に寄せて

福岡県知事 麻 生 渡

このたび、財団法人九州環境管理協会が創立 25 周年を迎えられましたことを、心からお喜び申し上げます。

貴協会は、公害問題が深刻化していた昭和 46 年 10 月、九州水質分析研究会を前身として発足され、水質分析を皮切りに今日では、環境アセスメント、景観設計、環境放射能などあらゆる分野での環境問題に真摯にかつ積極的に取り組んでこられているところです。

顧みますと貴協会発足の前年の昭和 45 年、国においては第 64 回国会、いわゆる公害国会が開かれ、各種の法制度が整備され翌昭和 46 年には環境庁が発足しています。これにより我が国の公害行政は本格的発展に入り、画期的な時期を迎えることとなります。

それから 25 年という歳月を経て、この間、環境問題も大きな変化を遂げてきたことはご承知のとおりです。今日では、関係各般のご努力により産業公害は鎮静化し、代わって県民一人一人の活動に起因する都市・生活型公害や身近な自然の保全などが地域の環境問題として認識されています。また、酸性雨・地球温暖化やオゾン層の破壊といった地球環境問題も深刻な状況にあります。

これらの問題の対処に当たり、国の内外ではブラジルで開催された地球サミット、環境基本法の制定、それに基づく環境基本計画の策定と一連の大きな動きが見られています。本県としても、総合的、計画的な施策の推進に向けて、平成 7 年 3 月に福岡県環境総合基本計画を策定したところであり、環境問題の解決に積極的に取り組んでまいりたいと考えています。

今後は、この計画を実効あるものとするため、福岡県ローカルアジェンダ 21（仮称）を策定する予定であり、これが県民や事業者の皆さんの自主的な行動のための契機となればと考えているところです。

また、産業面からも産学官共同の仕組みづくりを進めており、環境への負荷の低減に向けて環境技術の向上が大いに期待されるところです。

本県では、アジアに近いという地理的な条件から「豊かで活力あるアジアに開かれたふくおかの共創」をキーワードとして、諸施策に取り組むこととしており、アジア諸国の環境問題とも無縁ではなく、特に地球環境問題に対しては、アジア諸国と積極的に連携を強めることが必要であると考えています。

豊かな 21 世紀を築くため、環境問題は人類の英知を集め、総力を挙げて取り組まなければ解決できない課題です。このような中で、25 周年という節目の年を迎えられ、今後とも貴協会に対する社会的要請はますます高くなることと思います。

貴協会がこれを契機としてさらに事業内容を充実され、県内の環境問題解決に向け、正しい見識と卓越した行動力で調査研究事業のリード役として今後とも発展されることを期待しています。